

	課題分析	授業改善策
1年	国語語をまとまりで読み、意味を理解して読むこと。 算数文章問題など、思考して問題を解くこと。	- 意味を確認しながら音読をさせ、言葉のまとまりを意識させる。短い読解問題を繰り返す。 - 操作したり、文と絵を一致したりする活動を通して思考力を高める。
2年	国語自分の考えをもちながら、話したり聞いたりすること。 算数文章問題で問われていることを読み取って思考すること。	- 考える時間を十分に確保し、話し方、聞き方のモデルを示してから活動に取り組ませる。 - 思考の基となる基礎基本の定着を図り、繰り返し問題に取り組ませる。
3年	国語相手の話を最後まで聞き、自分の気持ちや考えを表現すること。 体育体を上手に動かすことや、体のどの部分を使っているか意識すること。	- 自分の言葉で気持ちや考えを書き、発表する機会を設ける。 - 友達の動きを見る位置や視点について、ICT 機器や学習カードを使い指導する。
4年	国語自分の考えを広げるために、他との違いを明らかにし、互いの考えの良さを認め合うこと。 算数東京ベーシックやワークテストの結果から思考力や判断力を活用して解く問題に苦手意識があること。	- 話の中心や背景を理解し、それらに基づいて自分の考えをまとめる時間を確保する。 - 自分の考えをもち、友達と交流することで比較分類し、違いがあることに気付くことができる。 - 知識・技能の定着をねらって、基礎問題に取り組む。 - 授業で自分の考えをもつ時間を十分に確保し、交流することによって様々な考えに触れ、思考力を高める。
5年	国語目的や意図に応じて、自分の考えが相手に伝わるように、構成や表現を工夫して話したり書いたりすること。 体育運動そのものがもつ特性（楽しさ）を児童一人一人が味わうこと。仲間と協力して課題解決ができるようにすること。	- タブレットを積極的に利活用することで言葉の順序や表現の工夫などをより検討できるようにする。 - 各領域の運動の特性を教員が把握し、単元のはじまり（運動との出会い）を大切にし、児童の実態に応じて学習過程を柔軟に変更していく。
6年	国語話の内容を捉えながら聞いて、自分の思いや考えを広げること。 体育苦手意識をもっている児童への運動の楽しさや喜びを味わうこと。	- 自分の考えをまとめる時間を十分取ったり、交流の場を設定したりする等、友達の意見と比較しながら伝え合うよう指導する。 - 各領域で、苦手な児童も取り組みやすいよう工夫した活動を考え、みんなが楽しいと思える体育学習の実践をしていく。
専科	音楽 - 鑑賞についての知識を生かしながら、曲や演奏のよさなどを見出し、聴き取ったこと、感じ取ったことを言語化すること。 - 発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をすること。	- 曲想の変化と音楽の構造との関わりを、友達との対話を通し、理解を深めるような学習計画を工夫する。 - 曲の特徴から、思いや意図をもてるような指導計画を立てる。